



秋田市中通6-7-36
全国林野労組連合組合
東北地方本部
発行 高橋 茂
責任者 TEL 018-832-6957
FAX 018-834-7876

「闘志の夜明け」 林写協：欠畠 信

「風の中で」

林文協 阿 部 進



年頭のあいさつ

執行委員長 高 橋 茂

中国は強烈に反発 国連を通じアメリカを巻き込んでの対日攻勢
日本経済への打撃 にもかかわらず
勇ましい 悪いのは言わせた野党議員と中国
高い支持率を背景に高市発言擁護が止まらない
戦火を知らない世代が政治の中心について
威勢の良さに共感する若い層
戦争というものに対するリアリズムが描けないまま
好戦的ムードだけが広がりつつある

火の見やぐらから半鐘が消え 寺からも鐘がなくなり
ナベ カマ ヤカン
ありとあらゆる金物が家庭から取り上げられたあの日
男たちは戦場に放り込まれ 女たちは竹槍を持たされたあの日
そしておびただしい数の生命が一瞬にして奪われたあの日

過ちは二度と繰り返しません
誓いの言葉が
風の中で
苦笑している

2025年の年頭に当たりごあいさつ申し上げます。組合員並びに林野労組ファミリーのみなさん、新年明けましておめでとうございます。また、昨年一年間の林野労組の取り組みや組織運営などにご協力頂いたことに對して、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の人事院勧告ですが、賃金面に絞ってみると、若年層に重点を置きつつ全世代で引き上げがされました。特に、中堅・高齢層は昨年を上回る引き上げ率となったことや自動車等使用者の通勤手当が見直し（引き上げ改定）が行われたことは、連合や公務労協に結集し、民間春闘と連携を図りつつ、中央・地方が一体となつて、粘り強く、組織的な運動を積み上げてきた成果であると受け止めています。一方で、物価上昇率は前年同月比プラス3%前後で推移している状況が続くなっています、「真に生活改善につながる賃上げ」を求めていく必要があると思っています。しつかりと官民連携のもと、で、実質賃金はマイナス基調であることから、継続して、次に、私たちの職場実態（働き方）と組織態勢の確立です。

職場は、伐採量の増加、災害対応、民國連携業務、低コスト林業への対応等、業務量は増え続ける一方で、事業実行に必要な予算が不足していることや、定数削減による要員の減少が続く中で、厳しい状況は変わっています。その中で、若年退職などの実態も続いている実態からの要求、交渉を粘り強く進めていく必要があります。そこで問われるのが組織態勢の確立です。そのためにも、組合員同士の話し合い、職場集会やオルグ、執行委員会での議論が重要です。改めて、組合運動の基本となる取り組みを強化していく必要があると思っています。

次に政治情勢です。昨年10月に、日本維新の会との間で連立入りを含めた政策協議が行われ、閣外協力による自民・維新の連立政権発足しました。この政権はこれまでにない右派・新自由主義的な色合いの強い政権といえます。

この間の自公政権によつて貧困と格差が拡大しました。同時に、物価高、実質賃金が低下するなかでの生活の立て直しが急務であり、格差解消、税の再分配機能の強化、軍事増税阻止、また、「人権」に対する施策の推進が求められます。合わせて、国有林職場の予算や要員等の課題は政治との係わりが密接であり、政治の場を通じて社会の課題、職場の課題を解決させていく必要があります。

2026年も組合員の団結強化と労働条件の維持向上、山積する課題の前進と平和と民主主義を守るために、働く者の声が届く政権交代の実現を目指し、連合や関係団体との連携を強化して取り組みを進めていく決意と、組合員の皆さまのこの一年のご多幸を祈念して年頭のあいさつとします。

